

補足資料

売上高及び営業利益の四半期推移

Attracting Tomorrow



(億円)		2022年3月期					2023年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	コンデンサ	471	498	508	504	1,981	576	629	615		
	インダクティブデバイス	421	453	470	458	1,802	493	528	501		
	その他受動部品	325	329	322	318	1,294	347	370	331		
	受動部品	1,218	1,280	1,300	1,280	5,078	1,416	1,527	1,446		
	センサ応用製品	268	327	361	351	1,308	390	459	456		
	磁気応用製品	606	654	640	584	2,484	551	547	475		
	エネルギー応用製品	1,996	2,355	2,561	2,741	9,653	2,601	3,423	3,314		
	その他	113	125	133	126	497	146	159	178		
	合計	4,201	4,741	4,997	5,083	19,021	5,105	6,115	5,870		
営業利益	受動部品	181	215	225	148	768	246	296	260		
	センサ応用製品	△ 32	10	31	△ 12	△ 3	28	44	56		
	磁気応用製品	29	23	36	△ 42	45	△ 7	△ 18	△ 139		
	エネルギー応用製品	234	343	390	265	1,232	273	535	598		
	その他	△ 10	△ 3	△ 1	△ 1	△ 14	4	△ 2	9		
	小計	402	587	681	357	2,028	544	855	783		
	全社および消去	△ 89	△ 85	△ 84	△ 103	△ 361	△ 98	△ 98	△ 100		
	合計	313	503	597	255	1,668	446	757	684		
為替	対ドルレート (円)	109.50	110.07	113.67	116.14	112.33	129.36	138.20	141.75		
	対ユーロレート (円)	131.90	129.83	130.06	130.35	130.53	137.95	139.39	144.26		

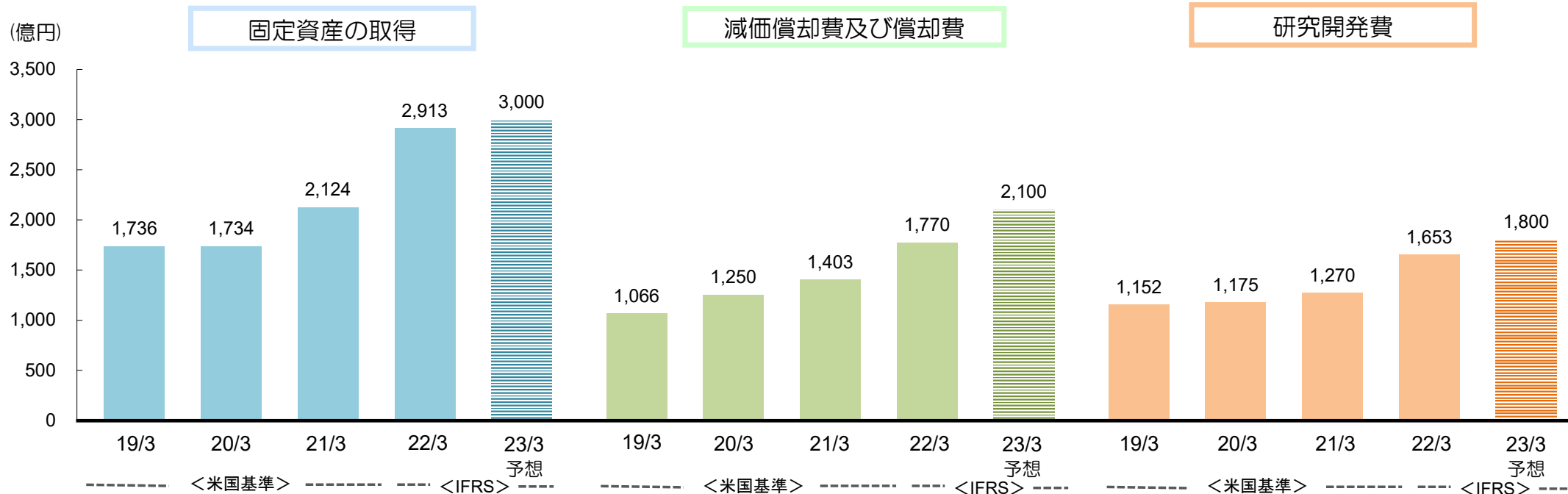
(注) 当第1四半期連結累計期間における組織変更により、従来「その他」に属していた一部製品を「受動部品」及び「センサ応用製品」に区分変更しています。上記に伴い、前連結会計期間の数値についても変更後の区分に組替えています。

2023年3月期各種費用見通し及び為替感応度

Attracting Tomorrow



各種費用



為替感応度（1円の変動による影響額）

●ドル：売上100億円、営業利益20億円

●ユーロ：売上20億円、営業利益6億円

財政状態

(億円)	2022年3月末	2022年9月末	2022年12月末	対9月末比 増減
資産合計	30,417	33,893	31,737	△ 2,156
負債合計	17,379	18,377	17,110	△ 1,267
親会社の所有者に帰属する持分	13,003	15,476	14,578	△ 899
親会社所有者帰属持分比率	42.8%	45.7%	45.9%	+0.2pt
現預金・短期投資・有価証券	4,930	4,732	4,869	137
有利子負債 (*1)	6,798	7,413	7,460	47
ネットキャッシュ (*2)	△ 1,868	△ 2,682	△ 2,592	90

*1: 借入金 + 社債 + リース負債

*2: 現預金・短期投資・有価証券 - 有利子負債

キャッシュフロー

Attracting Tomorrow

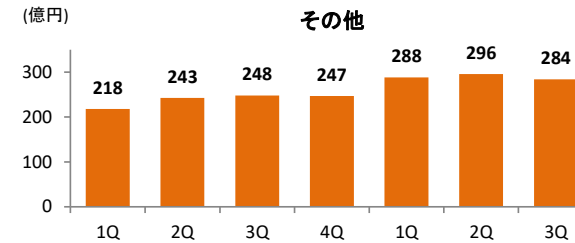
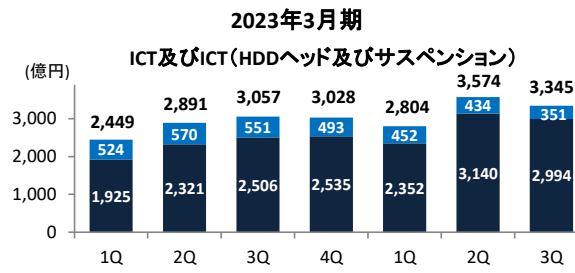
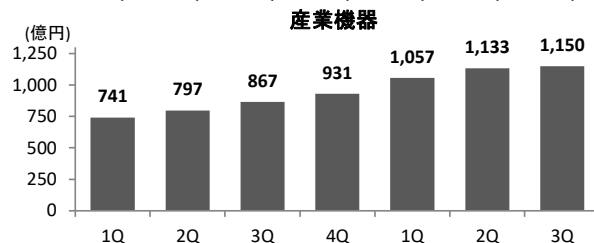
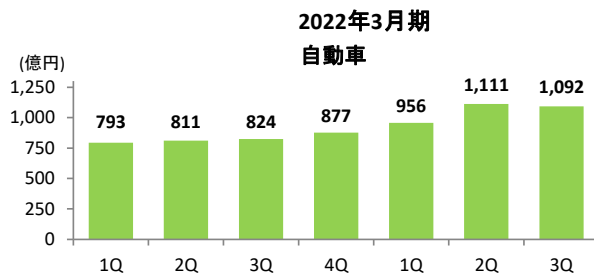
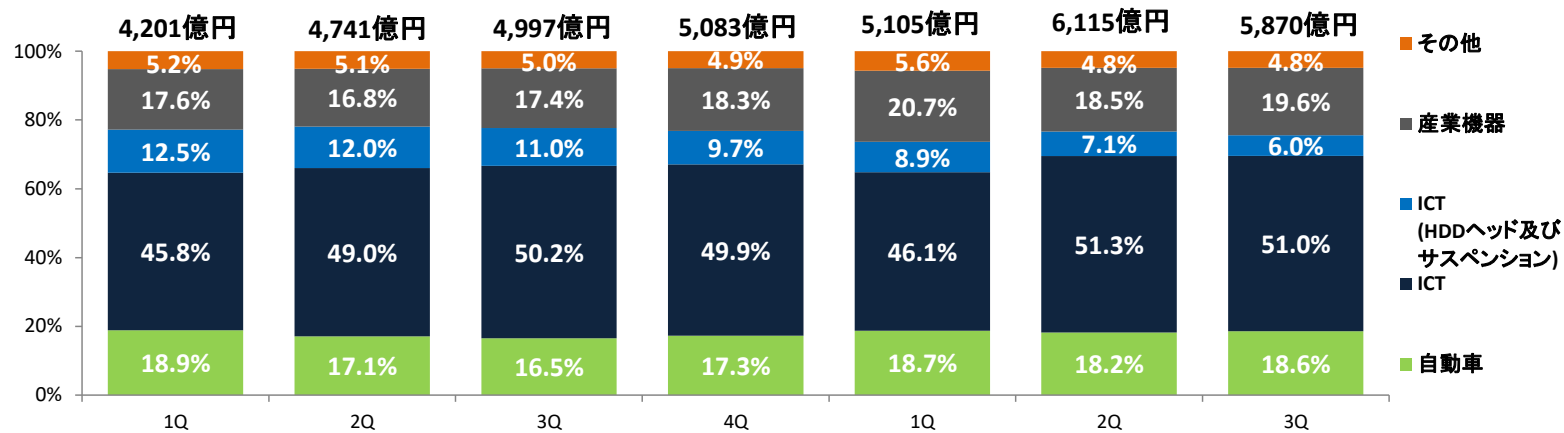


(億円)	2022年3月期 第3四半期累計実績	2023年3月期 第3四半期累計実績	増減
営業活動によるキャッシュフロー	845	1,842	997
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,985	△ 1,775	211
フリーキャッシュフロー (FCF)	△ 1,140	67	1,208
財務活動によるキャッシュフロー	1,200	208	△ 992
為替変動による影響額	214	84	△ 131

現金同等物残高	4,078	4,752	674
---------	-------	-------	-----

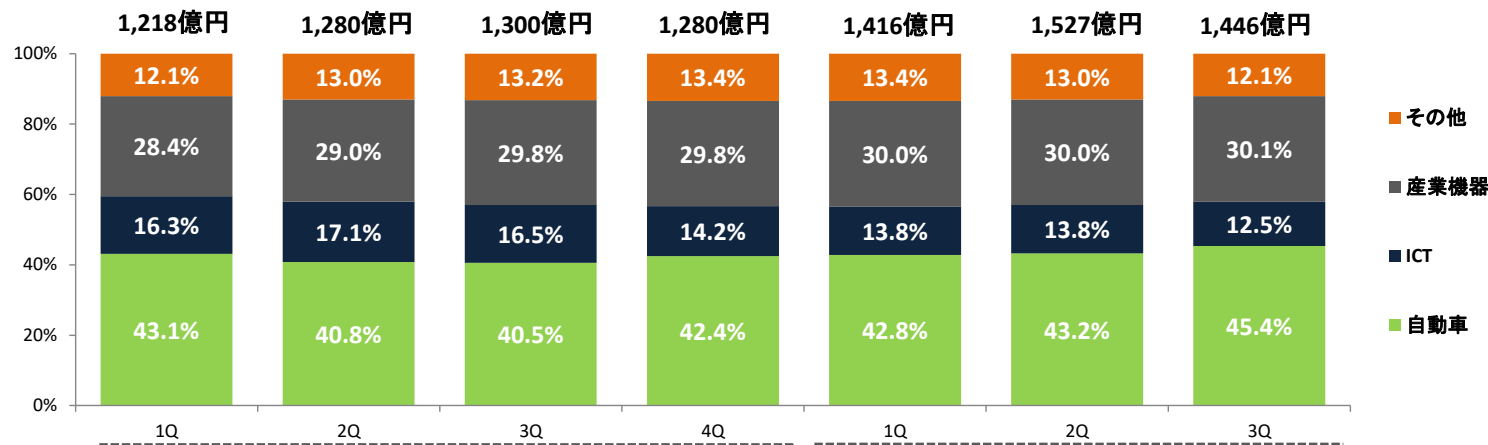
(億円)	2022年3月期 第3四半期累計実績	2023年3月期 第3四半期累計実績	増減
固定資産の取得	2,108	2,203	95
減価償却費	1,296	1,557	261

全社 市場別四半期売上高推移 (2022年3月期1Q～2023年3月期3Q)



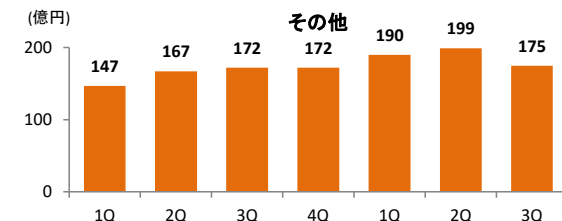
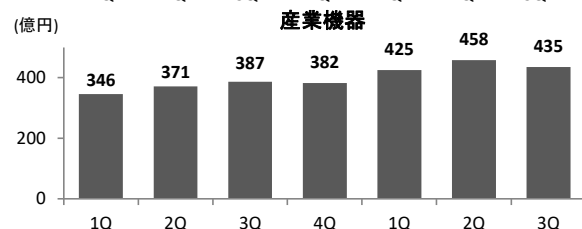
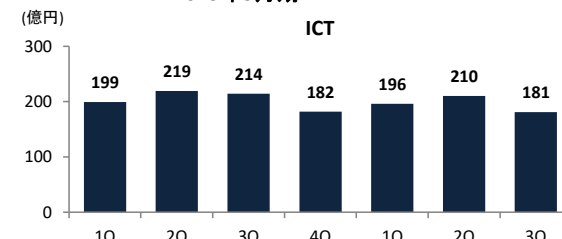
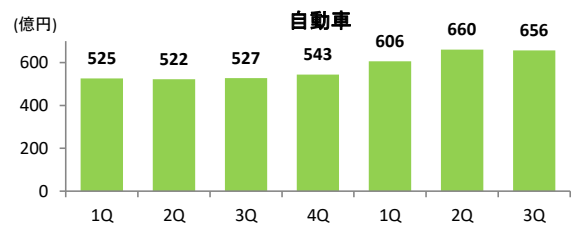
(注) 当第1四半期において市場の再定義を行い、前期の数値についても変更後の区分に組み替えております。

受動部品 市場別四半期売上高推移 (2022年3月期1Q~2023年3月期3Q)

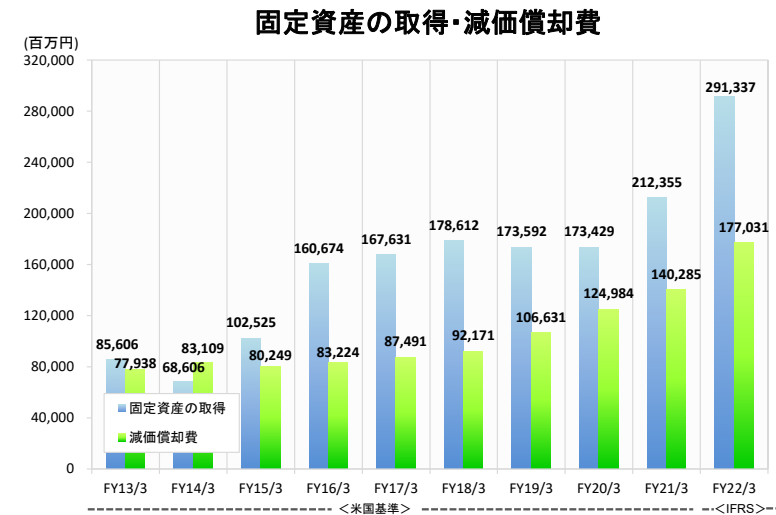
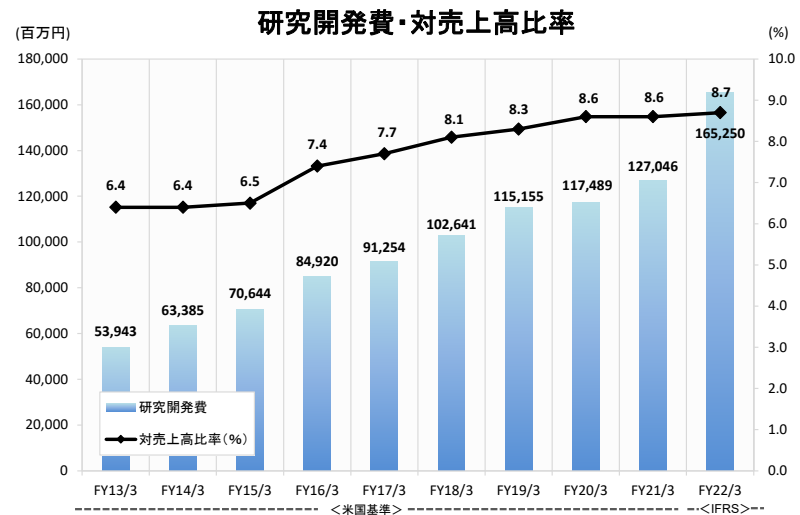
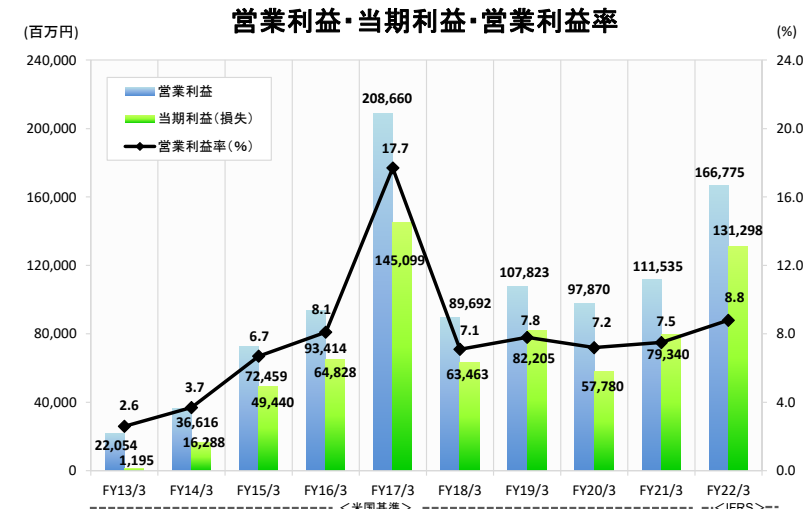
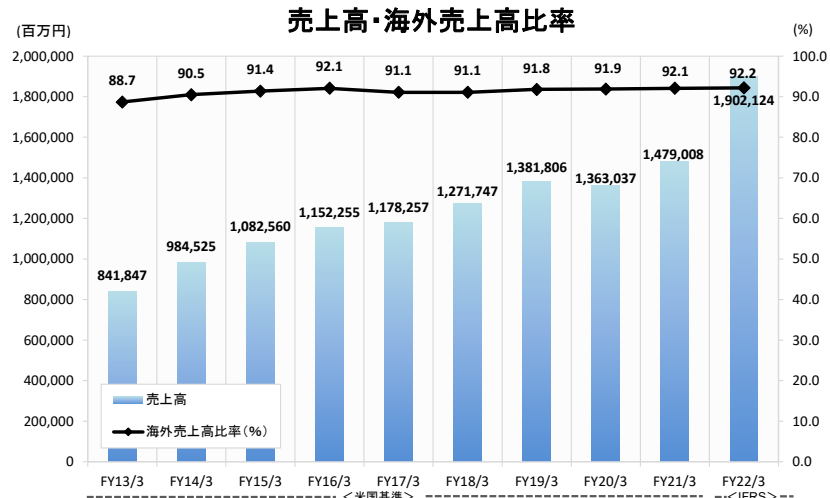


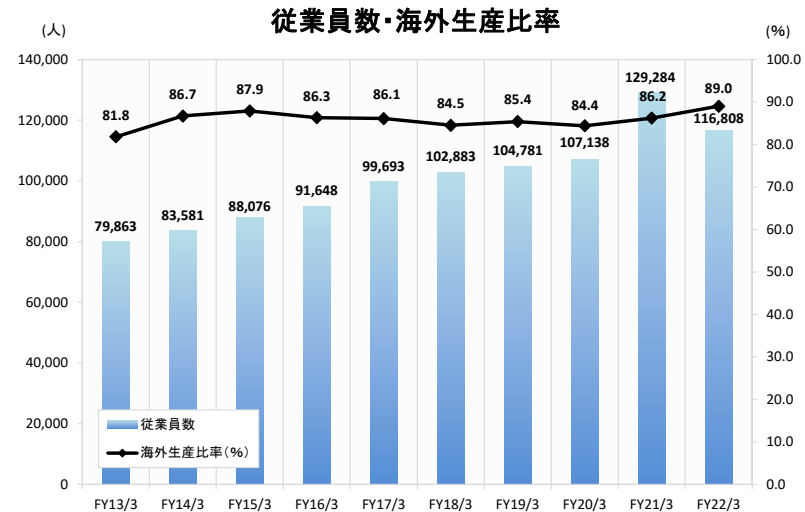
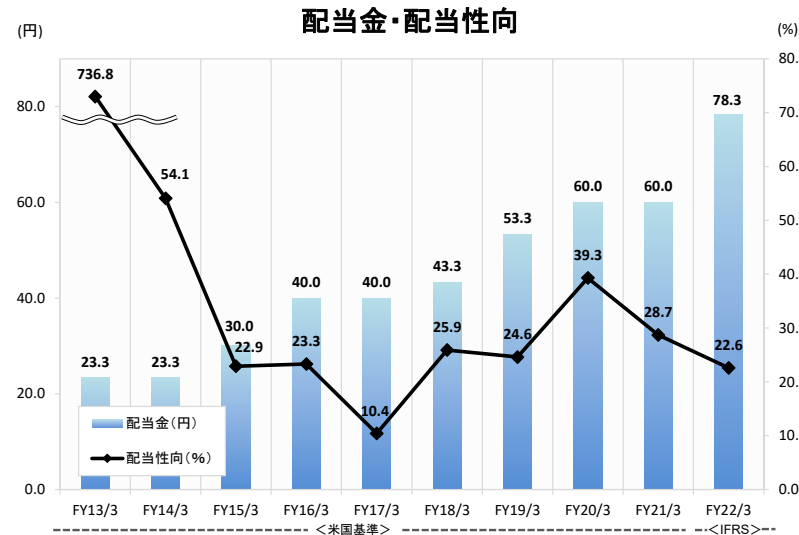
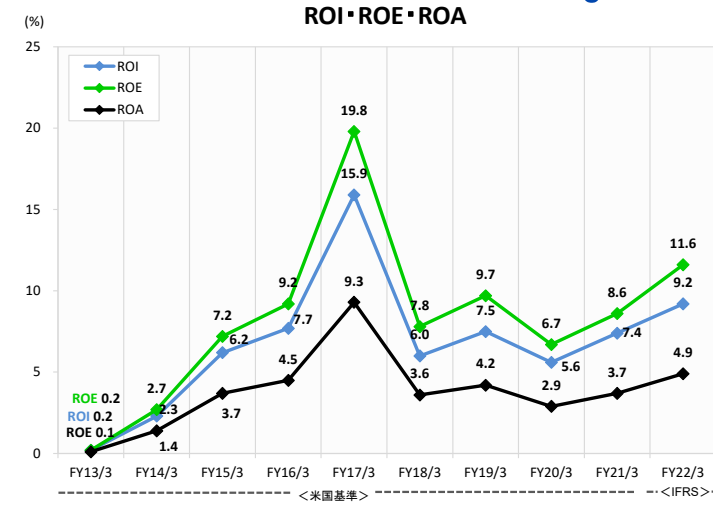
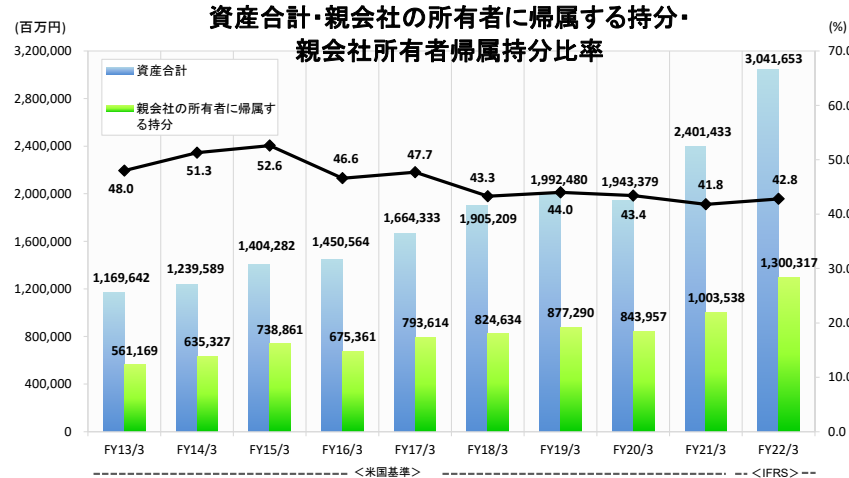
2022年3月期

2023年3月期



(注) 当第1四半期において市場の再定義を行い、前期の数値についても変更後の区分に組み替えております。





将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
https://www.tdk.com/ja/ir/ir_events/conference/2023/3q_1.html